

令和6年度 学校評価表の目標達成のための重点事業

学校評価委員会

部署	関連項目	令和6年度 目標達成のための重点事業	改善点・提言
教務・庶務・防災	10,11	保護者・地域への的確な情報発信	・ペーパーレス化推進を続けるとともに、学校だよりや校長通信などホームページ更新を増やし学校の様子を発信する機会を増やした。
	1,2	組織として円滑な学校運営	・職員会議もペーパーレス化を定着させ、クラウド上に共有化するなど工夫が続けている。
	1,10	職員間での適切な情報の共有の推進	・コロナ禍前の状態に戻ってきたが、すべてを元に戻すことはせず、生徒の実態に即した柔軟な校務運営を心掛けている。
	2,9	防災訓練の実施と工夫	・南海トラフ地震発生に備え、防災計画を大幅に見直し、職員や生徒に対して防災意識を高めることを行った。
情報ネットワーク	1,2,4	校務用情報機器の整備・保守	・一人一台端末の導入も4年目を迎え、全校生徒に対して、タブレット端末を活用した教育活動を行うことができるようになった。アプリケーションの導入も視野に入れながら、一層効果的な活用を促進できるような取り組みを行いたい。
	1,2,4	校務用アカウント・ソフトウェアの管理	・情報機器やケーブル等の貸出管理が散逸しがちであり、適切な管理方法について検討が必要である。
	1,2,4	校内ネットワークの管理、情報セキュリティの強化	
	1,6	学習用ICT機器、1人1台タブレット端末の導入・活用	
授業計画	5,6	学習効果を高める時間割編成の研究	・バランスの取れた時間割編成ができるよう研究し取り組みたい。
	5,6	考査・特編の計画・実施	・定期考査については、着実に計画、実行している。特編授業、3年テスト返却もバランスを考えて計画したい。
	5,6,7	科目選択及び講座編成の工夫	・科目選択/講座編成については、教育課程委員会とも連携し、早い時期から取り組んでいる。
進路指導	5,6	進路通信・学年進路通信の発行,模試結果の分析	・各学年の進路行事・模試をはじめ、信州大学説明会、大学模擬講義、予備校講師を招いての医学科セミナー、入試研究会、受験対策講座などを、計画に基づいて実施している。
	5,6,8	進路情報の提供	・各学年の進路通信により、模試・学習指導など多岐にわたる内容を伝えている。
	5,8	進路検討会の実施	・進路室通信も適宜発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図っている。
	1,10	各懇談会への資料提供	・前年度入試結果・最新入試動向などをまとめた資料を、学校評議員会・同窓会・PTA等に提供している。
	7,8	キャリア教育全般	・大学入学共通テストや年内入試に向けて、適時情報を提供しながら出願指導・確認作業を行っている。
学習指導	5,6	学習計画の立案と実施,シラバスの作成	・総合的な探究の時間では、学習指導係が中心となって、テーマ・問いの設定→調査・分析→表現・まとめといった探究のサイクルを回すことをより意識させている。また、教員が適切な支援を行えるように職員同士の情報共有の機会や職員研修を企画した。加えて、外部の指導員や講師によるワークショップや講演会を企画した。今年度から、いくつかの分野ではゼミ形式を取り入れて、大学での学びの形式が経験できることを目指している。
	5,6	小論文指導	・人権平和学習は、フリーランス国際協力師の原貴太氏のオンライン講義を受講し、振り返りフォームに感想等まとめて提出した。
	5,6,7	補習計画	・「学習室便り」を発行し、自習室の利用や学習指導室の利用を呼びかけた。
	5,6	総合的な探究の時間	・長期休業の補習は計画通り実施することができた。それ以外にも各学年による補習が積極的に行われた。
	2,3	人権平和学習(10月)	・匿名性を担保した授業評価の調査では、GoogleFormを用いて、効率的に行われ、授業改善につながった。
	6,7	学習室・自習室の環境整備	
	6,7	生徒による授業評価の実施と分析	
	6	授業公開・研究授業などの立案・計画	
図書視聴覚	4,9	日常および学校行事での放送協力	・各分担ごとに、着実に計画通り進んでいる。探究学習や進路に関する情報など、必要な時に適切な資料を提供できるよう心掛けている。
	7,9	図書通信の発行	・図書館の機関紙(通信)をGoogle Classroomでも閲覧できるようにした。また図書の更新作業を進めている。
	5,9	各学年・係・探究活動と連携した資料提供	
	6,8	小論文・面接などの資料提供	
生活指導	2,4	安心・安全な学校づくり	・通学時における交通安全について全校で集まる機会などを捉えながら注意を促してきた。自転車事故などは減少してきた。
	2,4	基本的な生活習慣の確立	・スマホ利用についてはゲーム依存など課題もあるように思う。今後も指導方法など含め引き続き検討していきたい。
	1,2,9	情報の共有と指導体制の確立	
生徒会指導	1,4	高松92宣言の遵守	・高松祭は、昨年に続き、コロナ禍前と同様の形で開催することができた。2日間通して3000人程の来場者を集め盛況であった。感染症、熱中症対策やおもてなしの姿勢など今後に生かしていきたい。
	2,9	高松祭などの行事の運営	・各委員長を含めた役員会を行い、活動状況を互いに把握するとともに積極的に委員会の活動が展開されるよう工夫した。
	2,9	委員会活動の活発化	・新役員体制がスタートした10月に、同窓会の方とともに、正門の清掃を行った。
	7,9	班活動の活発化	
教育相談	1,4,7	アンケートによるニーズの把握と問題の発見及び予防	・悩みアンケートおよび学校環境適応感尺度「アセス」により、悩みを抱える生徒の面談や相談に活用し、予防に活かすことができた。係会や教科担当学会等を通じて、生徒の情報共有や合理的配慮についての理解を深め、相談力向上事業も活用して生徒・保護者に丁寧に関わり、SC・SSWと連携しつつ遺漏のない支援及び環境整備を図っていきたい。
	1,4,7	生徒・保護者の支援及び環境整備	
保健衛生	1,4	生徒・職員の健康管理	・昨年コロナの影響で中止した救命講習は、職員19名、生徒31名が受講することができてよかった。今年度上半期は感染症の流行もないが、引き続き安全面に配慮しながら、生徒、職員の健康状態を見守っていきたい。
	2,4	学校安全の徹底	
美化	2,4,9	全校生徒の美化・環境意識の向上	・感染症対策として個人のごみの持ち帰りを継続しているが、ごみの量の削減により、結果として清潔な学習環境にも繋がっている。引き続き継続し、環境維持に努めていきたい。
PTA	10	学校と保護者の連携	・PTA行事は概ねコロナ前に戻り、対面で実施することができるようになり、一定の成果を得ることができた。
行政	4	校舎内外の環境整備の推進	・腐朽が進んでいた老巨木の伐採や、近隣住宅敷地に張り出していた樹木枝の剪定等を大規模に実施。倒木処理や枝の片付け等を職員で行う等予算面でも工夫し、敷地内環境整備に取り組んだ。
	4	エコマネジメント長野への取組推進	・正面玄関上部の外壁タイルが落下する恐れがあったため、大規模修繕を実施した。
	10	来校者等への親切・丁寧な対応	・コピー用紙の削減、使用していない教室等の消灯や冷房の適切な使用を呼びかけた。
1学年	5,6,7	iPadの活用と家庭学習習慣の確立	・コロナ対応や電話対応等、親切・丁寧な対応に努めた。
	7,8,9	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	・学校活動全般でタブレットの活用については定着してきている。生徒のスマートホンとタブレットの使い分けに課題がある。
	3,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	・コロナ以前の学校生活に戻り、普通の高校生活が送れていることはありがたい限りである。欠席の多い生徒もいるが、想定していたよりは少ない。
2学年	4,5,6	家庭学習習慣の確立	・問題行動も少なく、落ち着いている。「いじめ・暴力」については、発生してからでは遅いので、機会があるごとに指導したい。
	6,7,8	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	
	1,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	・学習への取り組み、基本的な生活習慣の確立、班活動の両立については、生徒とのこまめな面談を通じ指導を行っている。いじめ・暴力の根絶については、HR活動や授業を通して、その重要性を引き続き理解させたい。家庭連絡を密に行うことで保護者との信頼関係を構築し、協力体制を強めていくことを意識しながら諸々の指導を継続していきたい。
	9,10	保護者との信頼関係の確立	
3学年	5,8	目標目的を重視した志望の進路実現	・本人、保護者と懇談を丁寧に行い共通認識の下で進路選択をできるよう心掛けた。生活がコロナ禍前の状態に戻り、ほとんどの大学で例年通りの入試を行う形となったが、新教育課程初年度でもあり、最新情報を入手し着実に進路指導ができるよう留意した。班活動の大会や行事のコロナ禍前のように実施されたが、最上級生の立場になった生徒たちは多くの苦難があり、生徒たちの気持ちに寄り添い目標に向かえるよう配慮して指導した。過去2年間の状況と変わり、出欠に関してはベースをつかめず欠席の多い生徒もいたが、各個人ごとに対応することができた。最終学年として心身ともに、個々にも集団としてもたくましく成長した姿となるよう指導を継続していきたい。
	9	社会性・協働性の育成	
	11	生徒保護者と学校の連携	